



第3回 尾島地区文化祭

5年後、10年後も「住みやすい。住んでいてよかった。」と思える
人と人とのつながりある地域をめざし「地域のお宝」としてご紹介します。



～文化のかおり高い地域づくりを目指して～

3月8日(土)、9日(日)尾島生涯学習センターにて尾島地区文化祭が開催されました。絵手紙や書道、陶芸などの文化展示のほか多くの模擬店も立ち並び、地元の方や家族連れの方など多くの来場者で賑わいました。

また、9日に行われた芸能発表では太田高校応援団によるオープニングイベントを皮切りに、和太鼓やチアリーディング、社交ダンスなど多様な団体の発表が行われ、会場からは大きな拍手が沸き起こりました。



チェックポイント

文化祭という発表の場があることは、普段の活動でのモチベーションにつながるとともに、発表を成功させた時には大きな達成感を得ることができます。一方で、観覧者にとっても様々な文化に触れることで興味関心が広がります。

また、子どもからお年寄りまで幅広い年齢の方が集う文化祭は、自然と世代間の交流が生まれる場でもあります。



地域のお宝発見 太田市生活支援体制整備事業

～皆さんにお話しを伺いました～



尾島地区文化祭第1回から会長を務めています。今回初めての試みとしておじま子ども週末クラブにも参加していただいたほか、芸能発表でも太田高校の応援団や小学校高学年のチアダンスチームも参加していただき、幅広い世代の交流がはかれました。

毎年大盛況の文化祭、来場する方に楽しんでいただければと思っています。



文化祭実行委員会会長
境野 賢治さん

活動を始めて5年目です。太鼓は音階がなく、誰でも楽しく演奏できるのが魅力であり、一方で息を合わせて演奏するのは難しく奥が深いです。文化祭で演奏した3曲は2年間かけて練習した集大成です。

こういう発表の場があると普段の活動でのモチベーションにもつながるし、もっと発表の場があるとうれしいです！



和三盆のみなさん



石垣さんご家族

昨年度参加したホールインワンゲームが楽しかったので今年も楽しみに来ました。

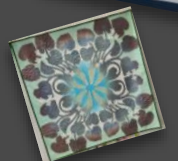
また、今年は学童での知り合いの子が芸能発表に出るのでそれを観たり、抽選会にも参加して家族みんなで楽しめました！



小林 香里さん

おばあちゃんが尾島ダンスサークルに所属し、芸能発表で出演するため観に来ました。

こういう文化祭の場があることで自分のやりたいことがとことんできると思います！



絵手紙 ふみの会 会員作品(写真上)と
ハワイアンキルト・チクチク 講師作品(写真下)